

来年からの寺子屋について

学長 岡田京子

秋はほとんど消えて、夏から冬という急変の気候の中、みなさんお元気でお過ごしでしょうか。「寺子屋」の今年は、木村快講師1回・笠木透講師3回・安達元彦講師1回計5回の講座を終えて、5年目を終了しました。これらを経て、スタッフ会議で討議した結果、来年からの講座についての方向を、以下のように変更しましたので、お知らせいたします。

- 来年からは3人の講師に替って、私、岡田講師（臨時に安達講師も参加します）による「つくり小屋」と「うた小屋」の2本立ての「音楽の実践講座」を約1年間続けていきます。
- この方向にふみ切った大きなきっかけは、今年3回かけて行われた笠木講師の「歌う詞」の講座によるところが大きいものでした。ほとんどの人たちが、初めて自分の言葉で詩を書くことに挑戦しました。「自分のふるさとや家族や思い出」など、自分の人生とつながるものをテーマとした結果、ほとんどの詩が生きいきと素朴で、それぞれの人を知ることができるものとなったのは、笠木講師のおかげです。
- しかしこれらはすべて、これから歌うものとして新たに「作曲」という作業につながっていくものです。昨年1度岡田講師によって行った「誰もがみんな音の種を持っている」の作曲講座は、1日で、日本の言葉が持つ音の法則を学び、その場で節付けをして、それぞれが歌って発表するというもので、ほとんどアウトラインしか提示できなかった嫌いがあります（それでもなかなか素直で素朴な曲ができたのですが）。今ここに「自分の人生と関わる詩」が生まれた以上、それを大切に1年かけて、自分の1曲をていねいに作ってほしいと考えました。

「つくり小屋」について

- 入学資格は特にありません。自分の詞に曲をつけたいと思っている人、まだ詞が完成していない人、詞も曲も作ったことがない人、のぞいてみたい人、すべて受け入れます。今回の笠木講師か安達講師の講座に参加した人は、ぜひ参加してください。
- 全員がそれぞれの作品に集中しながら、話し合いを通して自分の課題を見つけて宿題として持ち帰るという方法をとります。
- 講座は毎月行いますが、随時参加も認めます。自分の仕事の都合、進行具合の都合で、毎月来られなくてもかまいません。ただし、会場の都合もありますので、必ず出欠・予約を明らかにしてください。
- 1年後には笠木講師と共にコンサートができれば最高ですね。
- 一番望むことは、音楽を通して新しい人間のつながりができることなのです。

「うた小屋」について

- 「うた小屋」は歌をうたう会として、スタッフ中心に今までも開かれてきましたが、これからは隔月に開き、かつ参加者の枠を広げて行います。「つくり小屋」と違って、原則として休まず参加してほしいです。
- 日本民謡・朝鮮民謡・寺子屋講師の作品・「つくり小屋」でできた作品などを歌います。

お申し込み受付中！



2011年は、岡田講師による

つくり小屋

と

うた小屋

で

日時：毎月第1日曜日の午後1：30～4：30 合計12回
(1月のみ9日(日))

場所：練馬区立男女共同参画センター“えーる”和室大など
(西武池袋線石神井公園駅徒歩10分：地図下記)

学費：前期10,000円、後期10,000円
(単発での参加は2,000円/1回)

日時：偶数月の第3金曜日午後6：30～9：00 合計6回

場所：同上“えーる”視聴覚室など

学費：年間6,000円
(単発での参加は1,500円/1回)



連絡先：岡田京子 (☎&FAX)：03-3337-5830

名取真理子 (☎&FAX)：03-3929-0516

寺子屋 e-mail: medaka2010terakoya@yahoo.co.jp